

薄暗くなつた。死は目前に迫つて來た。

僕は三角形の隅に首をうなだれて、息を窒めた。

心臓がヒキツル様に疼く。

巡査が足音を忍ばせて窺つてゐる。

幾度となく氣絶しで、何にも覺えないで、僕は十分間ばかり經つと、又立ち上つてオラビ續ける。

脊筋を硬直させて、兩足で板の間や格子を力限り踏みつける。

骨がキンメキ折れ曲る程踏ん張るのだ。

手を伸ばして天井の板を突き剝がそうとする。

頭の血を引き下げなければならぬ。

昏睡してスヤ／＼と眠つたらうか。

頭の髪はこはばつて、ピリ／＼いたむ。

電流の通つてゐるはりがねの様だ。